

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	庄原立東城小学校		
学校長氏名	西田 早苗	栄養教諭氏名	森川 のどか
職員数	28 名	児童・生徒数	251 名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ①基本的な食生活や食事マナーの定着が課題である。
- ②昨年度の成果として残食率の減少が挙げられるので、今年度も引き続き減少に取り組む。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ①良い食事マナーで給食を食べる児童を全児童の 70%以上にする。（担任の見取り調査）
- ②給食の残食率を総重量の 2%以下にする。（毎日の残食量の測定）
- ※①は学校評価目標に設定されている。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） ①学級や児童の実態に合った「食生活や食事マナー」に関する指導

1 学年では「おはしめいじんになろう」、3 学年では「マナーの達人になろう」、6 学年では「おやつのとりにかたを考えよう」など、それぞれの学級や児童の実態に応じた指導を行った。また、学級担任と連携し、給食時の学級指導や児童への個別指導を継続的に行うよう心掛けた。

【取組 2】（テーマ） ②食べるものが「楽しい！嬉しい！」と思える給食作り

残食率の減少にあたって、食べるものが「楽しい！嬉しい！」と思えるように、行事食や郷土料理、リクエストメニューなどを積極的に取り入れた。また、児童の食べる意欲を高めるために、給食委員会による残食についての発表や、給食放送で児童が考えたクイズや給食で使用する地場産物の紹介を行った。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○ 児童が「ひろしま給食」に参加する意欲を高めるために、朝会時や校内掲示において、メニューの特徴や、調理のポイントを紹介した。



○ 保護者へは、レシピやリーフレットの配付、食育講演会時に、「ひろしま給食」の紹介と広島ふるるんゼリーの試食を設ける等、啓発活動を行った。



○ 5学年のPTCにおいて、食育出前講座「だしについて」を実施した。プロの料理人から直接指導を受け、だしのひき方やだし巻き卵の作り方を学び、食に関する興味や関心が高まった。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

① 良い食事マナーで給食を食べる児童は、7月に実施した担任による見取り調査において、70%と目標値を達成できた。また、12月は79%という結果になり、担任と連携した指導の効果が表れていると考えられる。

食事マナー調査項目	箸を正しく持っている	食器を持っている	背筋が伸びている	ひじをついていない	両足が床についている	5項目集計
7月	71%	82%	61%	73%	64%	70%
12月	72%	81%	77%	88%	71%	79%

② 残食率は、どの月も2%を切る事ができた。また、数値は徐々に減少してきているので、引き続き「楽しい!嬉しい」給食作りを実施していきたい。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
残食率(%)	1.2	1.7	1.0	1.9	1.3	1.0	1.1	0.8	0.9	0.9

【課題】

① 箸の持ち方を短期間で改善するのは難しいため、長期的な指導と家庭の協力が必要である。

② 全体的な残食は減ってきたが、残す児童が固定化してきている。

6 今後の取組に向けた改善方策について

① 箸の持ち方など食事マナーに関する指導を定期的実施し、給食試食会や食育だより等で家庭への啓発を行う。

② 残食が固定化している児童への継続的な声かけを行う。